

本日は、定例記者会見を開催いたしましたところ、
皆様にはご出席いただきまして、ありがとうございます。

それでは、令和7年度12月補正予算（案）につきまして、
説明いたします。

令和7年度12月補正予算（案）の概要 1ページをご覧ください。

一般会計については、

補正額 9億218万8千円を追加し、

補正後の予算総額は 201億269万4千円であります。

これは、対前年度同期との比較で、8.3%の増であります。

一般会計、特別会計等を合わせました今回の補正額は、

10億6,655万8千円の追加で、

補正後の総額は、329億7,939万4千円であります。

それでは、一般会計の概要について、説明いたします。

2ページをご覧ください。

まず、民生費です。

「障害者自立支援事業費」 9, 419万3千円は、
障害者・障害児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができる
よう、必要な障害福祉サービスに係る給付を行うものであります。

次に、商工費です。

「観光施設維持管理事業費」 1, 683万円は、
老朽化の進んだ藤波池キャンプ場施設の改修を行うものであります。

次に、教育費です。

「金光小学校用地購入事業費」 7, 786万8千円は、
金光小学校の駐車場不足を解消するため用地購入を行うものでありま
す。

「市立幼稚園照明器具 LED 化事業費」 3, 437万5千円は、
金光幼稚園、鴨方東幼稚園、鴨方西幼稚園の照明器具を LED 化するも
のであります。

「公民館整備事業費」 1億9,357万8千円は、
施設環境整備のため中央公民館の空調設備更新及び金光公民館等の
照明器具をLED化するものであります。

以上、一般会計の概要について説明いたしました。

次に、特別会計及び企業会計の概要について、説明いたします。

今回の補正予算では、義務的経費等について、

「国民健康保険特別会計」、「後期高齢者医療特別会計」、

「介護保険特別会計」、「畑地かんがい給水事業特別会計」の

4つの特別会計と、

「水道事業会計」「下水道事業会計」の2つの企業会計で予算計上を
しております。

以上が、12月補正予算（案）の概要であります。

それでは12月補正予算（案）の主な事業の詳細について説明いたします。

浅口市長定例記者会見配布資料の1ページをご覧ください。

藤波池キャンプ場バンガロー等施設改修事業（1期事業）について、であります。

遙照山にあります藤波池キャンプ場は昭和33年の開園以来、多くの方にご利用いただいております。

また、昭和63年からは施設内に集会所やバンガロー等を整備するなど、多様化するニーズに対応して参りました。

このバンガロー等が整備から30年以上経過し、老朽化が進んでいることから、今年度から令和12年度にかけて、順次、施設の改修工事を行います。

改修内容としては、腐食している部材の交換や外壁の保護塗装、照明のLED化などになります。

この改修工事により、利用される方が自然を感じながら、より快適に過ごしていただけるものと考えております。

2ページをご覧ください。

金光小学校用地購入事業について、であります。

金光小学校は学校等関係者及び保護者の送迎車等の増加により、
学校職員及び来校者用の駐車場が不足している状況です。

このため、隣接している用地を購入し、駐車場として整備することで、
職員及び来校者の不便を解消するものです。

4ページをご覧ください。

熱中症対策におけるウォーターサーバー・冷凍庫整備事業について、
であります。

近年は、災害級ともいえる猛暑が続いております。

本市でも公立小中義務教育学校の登下校時の熱中症対策が
大きな課題となっており、保護者の皆様や学校の意見を
参考にしながら、児童生徒の安全安心のための取組を進めます。

来年度以降の登下校における熱中症対策として、
空になった水筒へ浄水された冷水を補充できるように、

「ウォータースタンド株式会社」と浅口市の協定により、1年間無償で
公立小中義務教育学校へ試行的に22台のウォーターサーバーを

設置する予定としております。

協定締結については12月中に予定しております。

また、歩いて登下校する児童が首元につけているネッククーラーなどを下校時にも冷たい状態で使えるように、

公立小義務教育学校へ34台の冷凍庫を整備する予定としております。

どちらも、令和8年3月末までに整備し、新年度から使用できるように準備を進める予定としております。

次に、主な事業の進捗状況などについて説明いたします。

5ページをご覧ください。

浅口市高齢者給食サービス事業の見直しについて、であります。

「最近食欲がなくなってきた」「頼れる人がいなくて買い物に行けない」などの状況から、食事を抜いたり、同じものばかりを食べてしまう。

このような偏った食生活は、低栄養状態を引き起こす一因となります。

高齢者が低栄養状態に陥ると、体力や免疫力が低下し、要介護状態へ進行する可能性が高まります。

この度、食事を十分に摂ることが難しくなってきた高齢者の方々を支援し見守りを行うため、配食費用の一部を支援する

「浅口市高齢者給食サービス事業」の利用条件を見直し、

令和8年1月より開始いたします。

その条件は、65歳以上の独居または75歳以上のみの世帯で、非課税世帯の高齢者の方かつ身体的・食生活・環境のアセスメントの結果、利用が必要な方が対象となります。

事業の内容は、回数などの制限はありますが、1回当たり200円を上限に支援するものです。

詳細につきましては、担当課にご確認ください。

6ページをご覧ください。

浅口市の12月15日からのごみの出し方について、であります。

新しい清掃工場「井笠広域里庄清掃工場」の試運転開始に併せて、ごみの出し方が、一部変更となります。

まず、今までパンが入った袋や卵パック等のプラスチック製容器包装を資源として回収していました。

このたび新たに、歯ブラシ等のプラスチック素材100%の製品プラスチックもプラスチック資源として、一緒に資源回収をする「分別収集」が始まります。

近年、地球温暖化や海洋汚染など環境への影響が世界的な問題となっております。

プラスチックを資源として再利用するため正しく分別し、
ごみとして捨てられるプラスチックの量を減らす取組となります。

続きまして、スプレー缶が原因と考えられるパッカー車の火災が
相次いだため、スプレー缶の回収方法が変更となります。

本庁および各総合支所、鴨方町深田地区にあるリサイクルセンターの
資源物ストックヤードへ直接お持ち込みいただけるよう、回収容器を設置
いたしました。

ごみステーションへ出す場合は、もえないごみ袋にスプレー缶が
入っていることがわかるよう張り紙をしてください。

最後に金光地域のごみ収集につきまして、

「井笠広域里庄清掃工場」搬入に伴い、土曜日の収集がなくなりますの
で、収集日が変更となります。

詳しくは市ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

8ページをご覧ください。

障害者週間イベントについて、であります。

毎年12月3日から9日までの1週間は、「障害者週間」です。

この期間にあわせ、障害に関する啓発のためのイベントを
浅口市健康福祉センターにて開催いたします。

12月2日（火曜日）から9日（火曜日）までの期間で

障害者の作品や施設紹介などの展示を行うほか、

12月7日（日曜日）には、講演会、福祉プチマルシェ、福祉ネイル体験などを実施いたします。

今回のイベントは、浅口市障害者自立支援協議会が主催するもので、

当事者・家族部会や福祉事業所等と企画運営などについて
協議しながら進めてまいりました。

これからも、障害の有無に関わらず、すべての市民皆様が支え合い、
誰もが住み慣れたまちで安心して暮らせる浅口市を目指してまいります。

11 ページをご覧ください。

第19回浅口市マラソン大会について、であります。

市民の健康と体力づくりの意識を高めるとともに、
参加者相互の親睦を深める機会として、

12月14日、日曜日に、三ツ山スポーツ公園周辺で、
「第19回浅口市マラソン大会」を開催いたします。

今大会は合計1,071人のランナーが出場いたします。

年々参加者が増えているため、昨年度のコースから一部変更し、さらに
走りやすく、かつ応援のしやすいコースになっております。

親子の部、小学生の部では、多くの市内の子どもたちが参加されます。
ぜひ子どもたちが元気に走る姿に大きな声援をよろしく願いいたします。
す。

中学生以上の部では、学生から大人まで無理なく、
より多くの方にスポーツに親しんでもらうため、体力等に合わせ、
3km、5kmのコースをご自身で選んでいただけるように変更して
おります。

特産品を用意している10kmコースには、
大阪府や鳥取県など遠方からもお申込みをいただいております。

大会終了後も「浅口市特産品」で浅口の魅力を堪能していただけること
と思います。

また、フットサル場横では、イベントとしても楽しんでいただくため、
今大会より屋台やキッチンカーなどのブースも設けております。

このほか、会場内では出走者全員に無料の豚汁も用意してお待ちして
おります。

市民の皆様におかれましては、頑張るランナーに温かい応援をよろし
くお願いいたします。

最後に13ページをご覧ください。

浅口市市制施行20周年記念 ロゴマーク・キャッチフレーズの
決定について、であります。

浅口市は令和8年3月21日に市制施20周年を迎えます。

この20周年の記念すべき年をPRし、市民の関心を高揚するため、
浅口市の未来を担うこどもたちから、ロゴマークとキャッチフレーズを
募集したところ、それぞれ約100件もの素晴らしい作品の応募をいた
だきました。

たくさんのご応募本当にありがとうございました。

選考委員会において、厳正に審査し、甲乙つけがたい作品の中から、それぞれ最優秀賞1点、優秀賞5点を選考しました。

最優秀作品を市制施行20周年記念のロゴマーク・キャッチフレーズとして採用し、記念すべき浅口市20周年の節目を市内外にPRするとともに、市民皆様と一緒に祝いし、より一層浅口市への愛着や誇りを醸成する機会にしてまいります。

私からは以上です。